



市民公開講座

みんなで築く、私たち静岡県の地域医療

日時 6月13日(土) 開場 13:00 開演 13:30
終演 16:30予定

会場 アクトシティ浜松 コングレスセンター 4階

この国の発展を支えてきた団塊の世代が高齢者となり、4人に1人が65歳以上という高齢化社会を迎えた今、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる社会づくりが求められています。当公開講座では、静岡の医師・薬剤師・訪問看護師が、県民の皆様と一緒に、この地域の特性にあわせた医療のあり方を考えます。皆様のご参加をお待ちしております。

400名様
参加者募集
入場無料

プログラム 司会:那須 洋子氏

基調講演①

「静岡県の医療を考える～地域住民として知っておくべきこと～」

小林 利彦氏（浜松医科大学附属病院
医療福祉支援センター長 特任教授）

基調講演②

「活用していますか?ジェネリック医薬品」

川上 純一氏（浜松医科大学教授・
附属病院薬剤部長）

Dr.らく朝の健康落語 「寄席外来」～笑いの効用～

パネルディスカッション

「住民の地域医療への関わり方」

小林 利彦氏、川上 純一氏、尾田 優美子氏（訪問看護ステーション三方原 所長）
スペシャルゲスト：高橋 英樹氏



落語家・医学博士
立川 らく朝



俳優
高橋 英樹

応募方法

応募フォーム

「かんじやさんの薬箱」内の専用応募フォームからお申込みください。
<http://www.generic.gr.jp/>



ハガキ

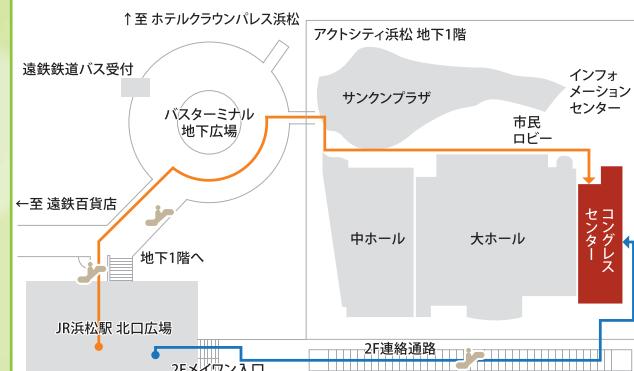
ハガキに①郵便番号、②住所、③氏名（参加者全員、1件につき2名様まで）、
④年齢、⑤電話番号、⑥出演者への質問（任意）を明記のうえ、
下記住所までお送りください。

〒541-0042 大阪市中央区今橋2-4-10 大広今橋ビル1階
(株)大広ONES内 「市民公開講座 受付係」宛

締め切り:6月1日(月)必着

※応募者多数の場合は、抽選の上、当選者に招待状をお送りします。
(応募フォームから応募の方には招待状メールを送付。印刷して当日持参ください。)
※応募者の個人情報は、本講座に関する諸連絡にのみ使用いたします。

コングレスセンターまでのルート



アクトシティ浜松 コングレスセンター

〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1

【お問い合わせ】日本ジェネリック医薬品学会

TEL:03-3438-1073(平日10:00~17:00、土・日・祝日を除く)

「みんなで築く、私たち静岡県の地域医療」

出演者プロフィール

小林 利彦 Toshihiko Kobayashi

浜松医科大学附属病院 医療福祉支援センター長
特任教授
静岡県医師会理事・浜松市医師会理事

1983年浜松医科大学卒業、静岡県立総合病院・焼津市立総合病院・富士宮市立病院などを経て、1993年浜松医科大学附属病院第一外科助手、2000年同講師、2008年～2012年まで附属病院副院長兼務、2010年から医療福祉支援センター長(特任教授)。現在は臨床を退いて、病院の顔?として地域と大学病院との橋渡しに努めている。

医師会活動等を通して地域の医療行政にも積極的に関与しており、病床機能報告制度の啓発・推進や、地域包括ケアシステム・在宅医療の普及に努めている。また、イベント好きで、浜松市や静岡県で行われる医療関連の行事の影のコーディネーターとして活躍している。

川上 純一 Junichi Kawakami

浜松医科大学教授・附属病院薬剤部長
日本病院薬剤師会常務理事
日本薬剤師会常務理事

1990年東京大学薬学部卒業。1995年同大学院博士課程修了。東京大学附属病院、オランダ・ライデン大学、富山大学附属病院を経て、2006年より現職。日本ジェネリック医薬品学会理事・第9回学術大会長(浜松、2015年6月13-14日)、日本医療薬学会理事・認定指導薬剤師・日本臨床薬理学会評議員・認定指導薬剤師。厚生労働省の各種委員会委員をはじめ、静岡県薬事審議会委員、静岡県立大学客員教授、静岡県病院薬剤師会会長などを務める。これまで浜松医科大学や静岡市内での市民公開講座の講演を多数行っている。

今回もご来場の皆さんにジェネリック医薬品のことを分かりやすくお話しするとともに、出演者の方々と楽しい討論にしたいと思います。

尾田 優美子 Yumiko Oda

社会福祉法人聖隸福祉事業団 訪問看護ステーション三方原所長兼ケアマネジャー
一般社団法人 全国訪問看護事業協会 訪問看護推進委員会委員

1988年社会福祉法人聖隸三方原病院 外科病棟に就職。ここでの患者さんとの出会いがきっかけで、訪問看護の道へ。訪問看護ステーション住吉の係長、細江・高丘の所長を歴任。現在の三方原は事業の立ち上げから関わり、開設から丸4年が経過した。訪問看護は色々な方と出会い、学ばせてもらえる仕事。これまで関わさせていただいた利用者様とご家族様に感謝しながら、新たな方との出会いを大切に育んでいる。地域でお住いの皆さんが病気や要介護状態でお困りになったとき、安心をお届けするサービスが「訪問看護」。そのためには、まずは医療従事者にもっと訪問看護を知ってもらいたいと、色々な交流の場を設け自身も参加している。今年は、地域住民の皆様と活動できる場を検討中。

高橋 英樹 Hideki Takahashi

俳優

1944年、千葉県生まれ。日本大学芸術学部卒業。高校在学中の昭和36年5月、日活ニューフェース5期生として日活入社、「高原児」でデビュー。以後、「激流に生きる男」「伊豆の踊り子」等、映画黄金時代の作品に多数出演。

大河ドラマ「義経」「駕姫」「花燃ゆ」を始め、テレビドラマでも活躍。

最新作は、NHK木曜時代劇「まんまとこと～麻之助裁判帳～」(2015年7月16日から放送予定)

著書「高橋英樹のおもしろ日本史」(KKベストセラーズ)が野村胡堂文学賞特別賞を受賞。

近年はバラエティにも活動の場を広げている。

医療・健康への関心も高く、2004年から沢井製薬のイメージキャラクターとしてジェネリック医薬品の啓発を務める。

立川 らく朝 Rakuchou Tatekawa

落語家・医学博士

1954年、長野県生まれ。杏林大学医学部卒業。慶應義塾大学医学部内科学教室へ入局。主として脂質異常症の臨床と研究に従事。慶應健康相談センター(人間ドック)医長を経て、2002年、東京都内に内科クリニックを開設。以後、院長として内科診療にあたる。

2000年、46歳にして立川志らく門下に入門、プロの落語家として活動を開始。2004年4月、立川流家元、立川談志に認められ二つ目昇進。2015年4月、立川流真打トライアルにて優勝し、同年10月1日をもって真打昇進。

医学博士でもある立川を活かし、“笑いとともに健康情報を提供する”をコンセプトに、「ヘルシートーク」、「健康落語®」、「落語&一人芝居」という新ジャンルを開拓。

那須 洋子 Hiroko Nasu

フリーアナウンサー
(元静岡第一テレビアナウンサー)

2001年から11年間、静岡第一テレビのアナウンサーとして「静岡〇ごとワイド」MCやサッカー番組「キックオフ」などを務めたのち、フリーに。

現在は、静岡第一テレビ「あいちゃん」木曜日レギュラーリポーター、読売テレビ「かんさい情報ネットten.」リポーターを務める他、CM、ナレーション、イベントMCなどで活躍中。